

年度:2019年 LOM番号:0262

【褒賞申請書】

事業名称	第21回三沢・沖縄児童交歓事業(送り出し)事業
カテゴリー	最優秀 LOM 長期型地域開発プログラム部門

申請LOM	東北地区 青森ブロック 三沢青年会議所
LOMの人数	23名
理事長名	中村 貴大
担当者名	副理事長 加澤和樹
担当者携帯番号	担当者E-Mail
事務局住所	〒033-0011青森県三沢市幸町2-1-1 商工会3F
事務局TEL	事務局 TEL0176-53-3231 FAX0176-53-3274

本事業の参加者	会員数	24名
	関係者数	16名
	一般参加者数	16名
事業実施に至る背景 400文字程度	1971年に同じ米軍基地を抱えるという関係で姉妹締結をした、三沢・沖縄両青年会議所は、1978年に「国内でも気候、風土、生活環境の著しく異なる地域である、三沢市の児童と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め、友好を結び、健やかに育ち行くための糧になること」を目的として、児童交歓事業調印式が行われてから、本年で第21回目を迎えます。41年という長い月日をつないできた本継続事業を諸先輩方の児童への想いと共に継承し、地域の枠を超えた友情と多くの経験を次代の子供たちのため学びの事業として提供していかなければなりません。	
事業目的 400文字程度	三沢の児童と沖縄の児童に学びと成長する機会を創出することを目的とするとともに、歴史ある本事業を三沢沖縄両青年会議所メンバーが結束して事業を実施し、参加児童の成長を見守りながら我々も絆をより強固なものとし、協力し合いながら本事業をさらによいものとしていくことを目的とする。	
SDG'sの該当項目	(SDG'sの該当項目を記載) 4番	

<p><b>事業概要</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>三沢市の児童と沖縄市の児童が2人一組でペアを組み両地域の自宅へホームステイし食文化、生活文化、基地についての課題を学び、発表会でペアごとに発表して頂きます。</p> <p>① 三沢沖縄の児童たちが、面と面を初めて合わせる場で行われる沖縄での到着式に向けて、5月23日(水)～6月19日(火)まで児童オリエンテーションを計5回開催し三沢市に縁のある催事物をレッスンした。</p> <p>② 6月例会と事前説明会を6月19日(火)に開催し、三沢市の児童親御さんに披露した。</p> <p>③ 出発式を三沢空港で、6月21日(木)09:00に開催し、三沢市長と三沢市教育長より「行ってらっしゃい」の掛け声のもと、沖縄へ移動した。</p> <p>④ 第21回三沢・沖縄児童交歓事業を沖縄の地において、6月21日(木)～6月25日(月)の期間、4泊5日の日程で実施した。</p> <p>⑤ 報告会を7月18日(水)18:00～19:00に開催し、沖縄で学んだ平和と風土や歴史の違いなど、児童たちが論文にまとめ発表した。</p>	
<p><b>開催期間・タイムスケジュール</b></p>	<p>2018年6月→三沢市児童が沖縄市へホームステイ(4泊5日) 2019年2月→沖縄市児童が三沢市へホームステイ(4泊5日)</p> <p>① 参加児童の公募 事業当日3ヶ月前 ② 児童決定通知発送 事業当日2ヶ月前 ③ 児童オリエンテーション 事業当日1ヶ月前 (各地域の文化芸能を児童たちが練習し両地域の歓迎会で関係諸団体に発表するため第1回～第5回まで開催する。)</p> <p>④ 三沢沖縄児童交歓事業実施 2018年6月、2019年2月</p> <p>⑤ 報告会を実施し各児童より関係諸団体と親御様へ学びの報告会の実施。</p>	
<p><b>開催場所</b></p>	<p>青森県三沢市、沖縄県沖縄市</p>	
<p><b>事業区分</b></p>	<p>継続</p>	
<p><b>公益・共益区分</b></p>	<p>公益事業</p>	
<p><b>事業総予算・収支</b></p>	<p>送り出し 予算計:597,373円 決算計:597,373円 迎え入れ 予算計:750,000円 決算計:750,000円</p>	
<p><b>協力団体</b></p>	<p>共催</p>	<p>三沢市教育委員会</p>

	<table border="1"> <tr> <td>協賛</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>後援</td> <td>おいらせ町教育委員会・六戸町教育委員会</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>三沢市小学校、おいらせ町小学校、六戸町小学校</td> </tr> </table>	協賛	なし	後援	おいらせ町教育委員会・六戸町教育委員会	その他	三沢市小学校、おいらせ町小学校、六戸町小学校
協賛	なし						
後援	おいらせ町教育委員会・六戸町教育委員会						
その他	三沢市小学校、おいらせ町小学校、六戸町小学校						
<b>事業対象者</b>	三沢市近隣の小学生。5年、6年生に限定						
<b>行動</b> <b>(ACTION TAKEN)</b> 400文字程度	<p>事業計画段階で理事長を筆頭に三沢市、教育委員会にて事業開催の旨を説明し児童交歓事業の共催・後援取得のため表敬訪問した。</p> <p>1月に実行委員会立上げ。</p> <p>2月、近隣小中学校の校長および教育長が参加している校長会へオブザーブ参加を依頼させて頂き、開催趣旨と要綱の説明を行った。また、児童たちの学校での欠席扱いを避けるべく、各小学校校長へ本事業の趣旨を再度、個別に説明し校欠での対応として頂いた。</p> <p>3月、協力学校へ再度個別訪問</p> <p>4月、児童公募のため、参加申し込み書類を各小学校へ持参し、5、6学年へ配布の依頼を行う。</p> <p>5月、児童公募終了。参加児童家庭へ参加決定通知書を発行。児童オリエンテーションの開催。</p> <p>6月、定例会および参加児童保護者への最終説明会の実施。本事業のため沖縄へ移動し事業を行う。</p> <p>7月、参加児童保護者、共催者向けに児童たちの学びの報告会の実施。</p>						
<b>結果</b> <b>(RESULT)</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三沢青年会議所・沖縄青年会議が、行政や関係諸団体と協働することで、児童交歓事業が公欠扱いのもと実施可能になった。これにより、近隣学校への事業開催告知を行うことができ、本事業の趣旨である青少年育成への意識を醸成する事が実現した。</li> <li>2. 本事業は4泊5日開催で、沖縄では平和の日での学び、三沢では南部地方のヤマセという気候の影響を受ける農産物を使用した食育の学びを生み出すことができた。</li> <li>3. 参加児童の親御様の満足度からすれば、官民協働で市民の愛郷心がさらに高まる青少年育成への魅力を発信し、次回の事業へ新たな人の流れを生み出すという目的が達成された。</li> </ol>						
<b>地域社会への影響</b> 400文字程度	<p>三沢青年会議所と沖縄青年会議所が当事業を行うことで、他の団体や市民における私たちへ青少年のために開催している事業の可能性を学びを通して拓くことができたこと、及び当事業を通じて沖縄では地方新聞への掲載、三沢市ではケーブルテレビに放映されるなど、魅力を伝えることができたことにより、関係団体による本事業へ学ばせる部分での参加が促進され、新たな魅力や人の繋がりを生むきっかけを創設することができた。</p>						

<p><b>LOMへの影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>本年は、青少年育成事業に誇りを持って、新たな魅力を発信しようと何度も実行委員会で協議しメンバー一丸となって準備を進めました。特に両青年会議所の児童学習ルートの打ち合わせは、遠方であることから、実行委員長を筆頭に多くの打ち合わせを行い両地域において前例のない学習、学びを計画するにあたり、困難に直面する場面も多くあったが、諦めることなく幾度も打ち合わせを重ねた。そして、各地方メディアを巻き込み事業を取材して頂き、関係諸団体に対して多く賛同していただきました。事業開催を通じて私たちLOMにとっての青少年育成事業の成功体験として大きな経験値となりました。</p>
<p><b>事業の長期的な影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>米軍基地がある街として両青年会議所で事業を行っているが、三沢と沖縄では米軍基地に対する想いも大きな違いがあります。沖縄では平和について継続して学ぶ必要があり、三沢では現在以上の共存を学んでいかななくてはなりません。児童たちは生まれたら三沢だった、沖縄だったという思いでしか無いようですが、これまでの歴史を伝えていく事がこれからも必要だと感じます。本事業で初の地方マスコミを巻き込んだ事業を地方で放映し宣伝でき、三沢市、沖縄市で両市の皆様に事業の概要を伝えることができました。今回の事業報告会で参加児童の家族から、次の第22回目は弟、妹を参加させますとの声がかかりました。次回事業では新入会員メンバーも関わり、そして毎年その時しかないフレッシュな5、6年生を巻き込んでいきたい。</p>
<p><b>考察や推奨</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>地域の関係諸団体、学校関係者、参加児童保護者との信頼関係のもと、メンバー自体も各地域と個々に様々なパートで関わりその中から問題点を見つけ、両LOMの事業へとつなげて良い事業へ進化していくこととなります。また、三沢沖縄の観光名所を訪れるという世間からみると旅行に偏りがちであった事業も今後は、学んでいる部分を見て頂けるため、より良い事業構築が見込めます。</p> <p>今回の両地域との会議を踏まえ、地方メディアにて取入れて頂いたことで、今後LOMとして大きく成長し、今後の青少年育成事業を新しい形で邁進することができるかと確信しています。</p>
<p><b>改善点</b></p>	<p>(改善点があれば記入)</p>
<p><b>JCI活動計画の推進</b>  <b>JCI VISION活動計画の推進</b>  <b>JCI MISSION活動計画の推進</b></p>	<p><b>JCI活動計画の推進</b>  ホームステイという手法をこれまで使用し、新たにメディアを使用し両地方の歴史や風土、文化の違いを学び、本事業を構築、開催し、それを広めることで、今まで事業になかった本事業のあり方がひとつ増えた。</p> <p><b>JCI VISION活動計画の推進</b>  実行委員会メンバーが主体となり、全メンバーで事業を行いな児童とともに</p>

	<p>交歓事業を行うことができました。両地域を学ぶことに目標を持って事業を共有することができました。</p> <p><b>JCI MISSION活動計画の推進</b></p> <p>両地域の抱える違いを学んで頂くことが出来たこと、そして児童同士のペアを組んだことによるお互いを思いやる心の助成につなげることが出来ました。</p>
<p><b>添付資料</b></p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p><a href="#">三沢沖縄児童交歓事業</a></p>

## 地方メディアでの取材



## 関係諸団体と出発式



## 三沢市出発



## 沖縄児童と合流



## 文化芸能発表



## 沖縄での平和について学習(沖縄地方メディア依頼)

